

行政経営改革アクションプラン（平成28年度～平成30年度）の取組状況に関する重点評価

将来像4 重点16 企画調整会議の推進

平成29年7月19日（水）

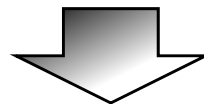
企画部企画政策課

1. 企画調整会議設立の経緯と概要

【企画調整会議設立の経緯】

従前

企画会議	平成5年度～、「第4次総合計画策定について」など67事項について全53回開催。
調整会議	平成18年度～、「新学校給食センター整備について」など28事項について全21回開催。



問題点

- 企画会議の形骸化（議題の固定化、発言少ない）
- 調整会議の位置づけが不明確
（議題・開催の要件、開催時期が不明確）
- 意思決定過程における位置づけがあいまい

行政経営改革の一環

企画調整会議の設置（平成25年4月1日）

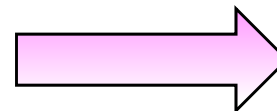
1. 企画調整会議設立の経緯と概要

【企画調整会議の概要】

会議の位置づけ

■市長が招集して開催

- ・市長または副市長が企画調整会議での協議を指示したとき
- ・付議事項を所管する部長級職員からの要請があり、市長が必要と判断したとき



従前の調整会議で不明確だった会議の位置づけを明確化

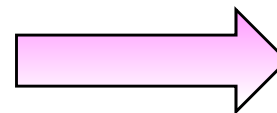
付議する事項

■市政の総合計画および運営に関すること

■重要な計画に関すること

■事業費総額が建設事業で10億円以上のものまたはその他の事業で1億円以上のもの（毎年度定量的に継続されるものを除く。）の事業計画に関すること

■複数の部の間で調整を要する重要な事項に関すること など



従前の企画会議で定めていた付議事項を拡充し、会議の形骸化を解消

計画的かつ円滑な行政運営と、意思決定過程の明確化が図られる

2. 企画調整会議の開催状況

【平成25年度からの開催状況】

年 度	主 な 付 議 事 項	開催回数
平成25年度	・平和公園(仮称)の整備について ・消防力適正配置の基本方針について ・硬式野球場に関する整備方針について ・指定有形文化財「大橋屋」の保存・活用について ・第6次総合計画策定方針について など	11回
平成26年度	・清掃工場延命化工事について ・施設管理協会のあり方に関する見直しについて など	4回
平成27年度	・平和公園(仮称)整備について ・放課後児童クラブ整備基本方針(案) など	3回
平成28年度	・防災センター建設基本計画等について など	2回

平成25年度からの4年間で合計20回開催

企画会議: 20年間で53回開催
調整会議: 7年間で21回

3. 事業の効果

【事例から見る事業の効果】

平和公園(仮称)の整備について



平成25年度第1回・第10回、平成26年度第3回、
平成27年度第1回

— 出席者(平成25年度第1回の場合) —

市長、副市長、企画部長・次長、総務部長・次長、市民部長・次長、産業部長・次長、建設部長・次長、都市対策監、教育部長、教育委員会事業、企画政策課長、財政課長、管財契約課長、文化振興課長、公園緑地課長、建築課長、都市計画課長、生涯学習課長

合計24名

■土地の有効活用について名古屋大学と協議してきた経緯を報告し、担当各課で情報共有。

■戦争遺跡や土壌などの課題を共通認識し、役割分担のもと担当課が積極的に事業を進めることを確認。

■整備検討委員会での意見を踏まえた基本構想策定の方向性を協議。

■庁内検討会、庁内検討部会の構成や役割などの体制および財源について協議。

3. 事業の効果

【事例から見る事業の効果】

複数の所管課で事案に対応する連携・協力体制の確立

事業方針理解の深化

意思決定過程の最高協議の場として付議事項の方針を決定

トップマネジメントの確立に寄与

4. 今後の課題

